

1. コロナ禍と市民活動について、お聞きいたします。

論点の第一は、地域まちづくり活動助成金についてです。地域まちづくり活動助成金は、実に様々な分野での市民活動に補助金を助成しており、市民活動の財政的な基盤を支えるものとして、まちづくりに重要な役割を果たしてきました。しかし例年20数団体の申請があったものが、今年はコロナ禍の影響で市民活動自体を休止しているところが多く、申請数も少なく、本年度は8件の採択にとどまっています。追加募集したらどうかと考えますが、追加募集の予定はないのか。追加募集がないとしたら、来年度予算は本年度の不用額が積み増しされてもいいと考えますが、いかがお考えですか。

市民活動は、世の中の流れを反映したも

2009 第 3 回定例会 中西個人質問

のだから活動の質も変容していくことが予想されます。今後の活動支援もそれに沿った形で内容を変容していく必要があるのではないかと。来年度はどのような考え方で募集するのか、お答えください。

論点の第二は、公的施設におけるインターネット環境整備についてです。

with コロナ after コロナの新しい生活様式の中では、市民活動もオンラインを使ったものが増えてくることが予想されます。イベントのオンライン開催のほか、講座や体操教室などでも1か所に集まるのではなくWEBでの開催が多くなり、公的な施設において、インターネットの環境が整備されていることが必須になってきます。東大阪市文化創造館や多目的センターでは整備されているとお聞きしていますが、リージョンセンター、社会教育センターや公民分

2009 第 3 回定例会 中西個人質問

館には整備されていません。整備していく計画はあるのか、お答えください。また自治会館についても、Wifi等の通信環境の整備について助成制度を考えていく必要があると思いますが、市のお考えはいかがですか。